



未来の先生展  
2017

# 授業づくりのまなびほぐしを考える

～定時制高校の授業づくりから、学校の授業を照射する～

プレゼン+鼎談形式

開催日時 2017年 8月 27日(日) 10:00-11:30

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館2F 207教室

団 体 NPO授業づくりネットワーク 伊藤晃一 阿部隆幸 石川晋

## 内容

千葉で夜間定時制高校の国語科教師として勤務している伊藤晃一さんが敬愛大学の阿部学さんと共に出版した『授業づくりをまなびほぐす ここからはじめるクリエイティブ授業論』（静岡学術出版）が注目を集めています。その伊藤さんに定時制高校での「まなびほぐし」実践の概要をお聞きし、上越教育大教職大学院准教授の阿部隆幸、元北海道・中学校教師の石川晋の二人が、様々な観点から「対話」を試みる時間です。事前に上記の本を読んでおく必要はありませんが、先に読んでくると、さらにおもしろいかも知れません。公教育の中での授業の可能性について、じっくりと考えを深め合う時間です。

## ここに注目！

伊藤晃一さんは「人間関係による傷つきは人間関係によってしかケアできないように、学びによる傷つきは、学びによってしかケアできないはずだ」と述べています。定時制高校に集まる多くの生徒たちは、それまでの過程のどこかで、学びにつまずいたり、学びの場から排除されたり、してきました。その現場で生徒の現実と向き合いながら、ありがちな人間関係支援や生徒指導的理解・対応にとどまらない、学びの可能性にまなざしを向けた「授業論」に、ぜひ参加者みんなでフォーカスしてみたいと考えています。伊藤さんが自著を語るめったにない機会です！

## 「NPO授業づくりネットワーク」プロフィール



NPO授業づくりネットワークは、1988年にスタートした教育研究団体です。当時は基本だった思想的な同質性をベースにした研究団体、という在り方をずらし、「異質な者どうしの学び合い」をコンセプトに掲げました。雑誌刊行と研修会運営を二本柱にして、ディベート、ワークショップ型授業、メディア・リテラシー、協同学習などなど、常に半歩先を行く提案を携えて、提案性重視の研究団体運営を心掛けてきました。現在は、授業づくりの関心をもつ教師や研究者はもちろん、教育を応援する民間企業やNPO、行政関係の方、一般市民や学生の方とも連携を深めながら、新しい授業づくりの方向を提案しています。

授業づくりを  
まなびほぐす

伊藤 晃一  
阿部 隆幸  
石川 晋

静岡学術出版

## 参加者へのメッセージ

アクティブ・ラーニングに注目が集まっています。授業改善の流れが本格化しつつあるものの、なかなか現場レベルでは、劇的には改善が進んでいない現状もあります。授業づくりネットワーク誌の副編集長に就任したばかりの伊藤さんの、現実との向き合い、まなびほぐしの実践をお聞きしながら、授業革新、授業改革について、その方略や考え方を、みなさんとじっくり考える時間にしたいと考えています。公立学校の可能性を信じる若い先生方、ぜひ、お集まりください。